

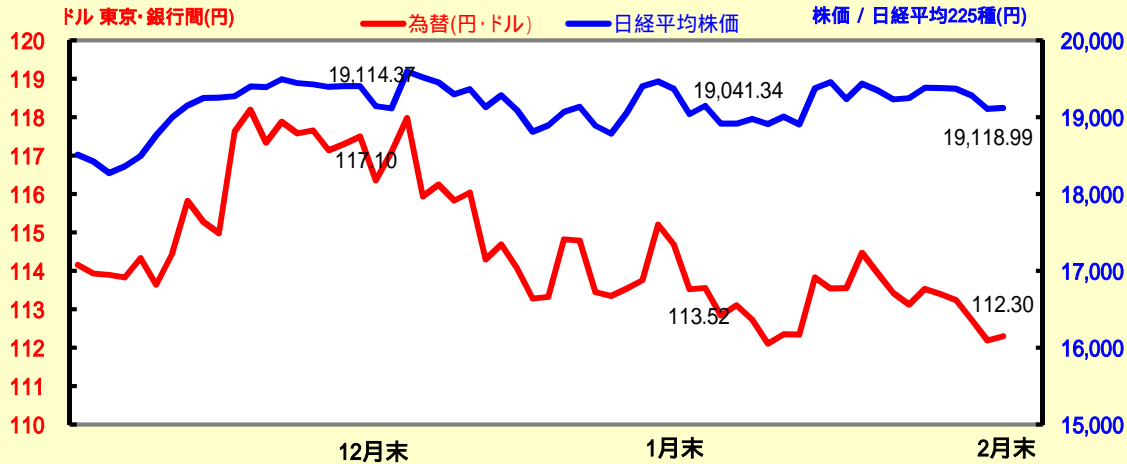
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成29年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成29年1～3月期の業況/平成29年4～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成29年3月中旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

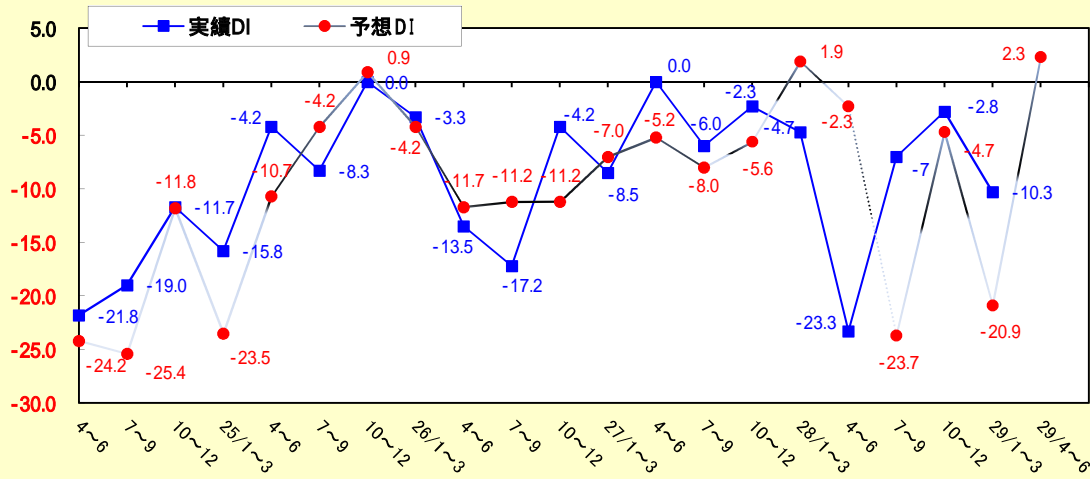
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

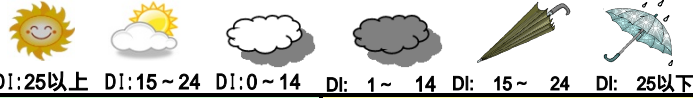
県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	1~3月期実績				4~6月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	10.3	▲6.7	▲20.2	2.5	2.3	2.2	3.6	0.0
製造業	9.6	▲12.5	▲60.0	20.0	3.2	6.2	0.0	0.0
小売業	16.9	▲12.0	▲30.7	12.5	6.7	12.0	0.0	12.5
卸売業	44.0	▲44.4	▲70.0	0.0	4.1	12.5	10.0	16.6
サービス業	3.3	0.0	0.0	▲50.0	▲6.6	▲17.8	10.7	50.0
建設業	18.1	40.0	22.2	0.0	13.6	20.0	22.2	0.0
不動産業	0.0	14.2	16.6	0.0	0.0	14.2	16.6	0.0

1月~3月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

1月~3月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは 10.3となり、前期比7.5ポイント下降となっています。
 業種別の状況は、製造業は 9.6となり、前期比16.2ポイント上昇、小売業は 16.9となり、前期比1.7ポイント下降、卸売業は 44.0となり、前期比32.0ポイント下降、サービス業は 3.3となり、前期比13.3ポイント下降、建設業は18.1ポイントとなり、前期比18.2ポイント下降、不動産業は0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準となっています。
 地域別では、別府地区が 6.7となり、前期比0.1ポイント下降、大分地区が 20.2となり、前期比17.8ポイント下降、県北地区が2.5となり、前期比2.5ポイント下降となっています。

業種別景況

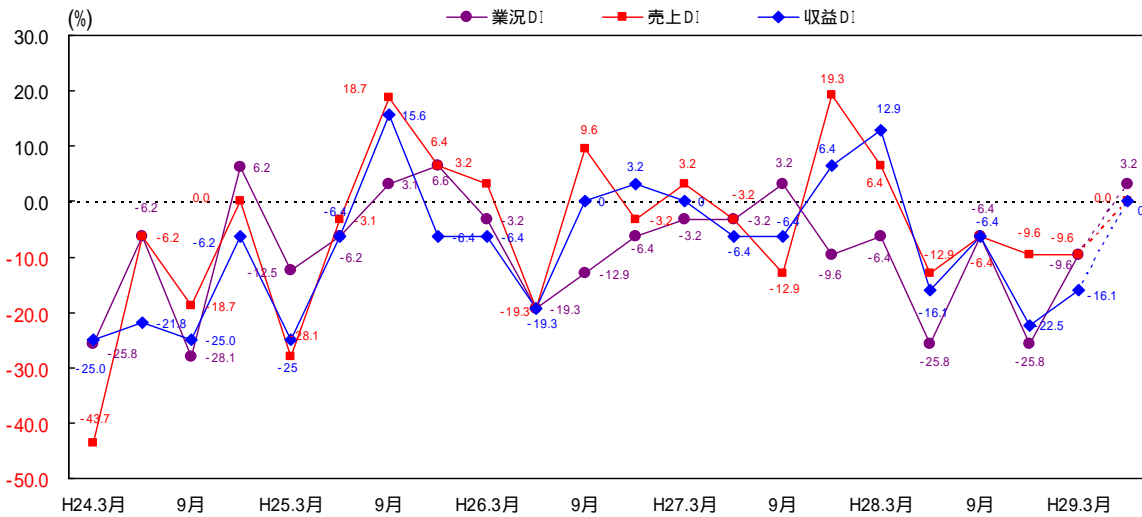
製造業

当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは 9.6となり、前期比16.2ポイント上昇、前年同期比3.2ポイント下降となっています。売上DIは 9.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比16.0ポイント下降となっています。収益DIは 16.1となり、前期比6.4ポイント上昇、前年同期比29.0ポイント下降となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が 12.5となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比18.7ポイント上昇で、大分地区が 60.0ポイントとなり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比100.0ポイント下降、県北地区が20.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比10.0ポイント上昇となっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは3.2となり、今期比12.8ポイント上昇となっています。売上予想DIは0.0となり今期比9.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは0.0となり今期比16.1ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が6.2、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	16.1%
同業者間の競争激化	14.7%
利幅の縮小	11.7%
人手不足	8.8%
原材料高	7.3%

最重要経営施策

販路拡大	22.2%
経費節減	20.8%
新製品・技術開発	12.5%
人材確保	11.1%
情報力強化	6.9%

経営者のみなさまの主なコメント

製品の材料となる野菜の仕入値が全国的に高騰しており収益を圧迫している。今後、機械化の推進により業務効率化を図っていく。(漬物製造卸売業)
 売上は減少している。高齢者のパートが多く、仕事の効率が良くない状況である。(パン・和菓子)
 毎年3～4月は学校等からの印刷の注文が増え、売上も増加する見込みである。また、本年は公的機関からの印刷注文受注予定であり、売上は増加する見込み。(印刷物)
 常連顧客の高齢化により、売上は年々減少している。経営者自身も高齢であることから販路拡大等は考えていない。(豆腐製造・販売)

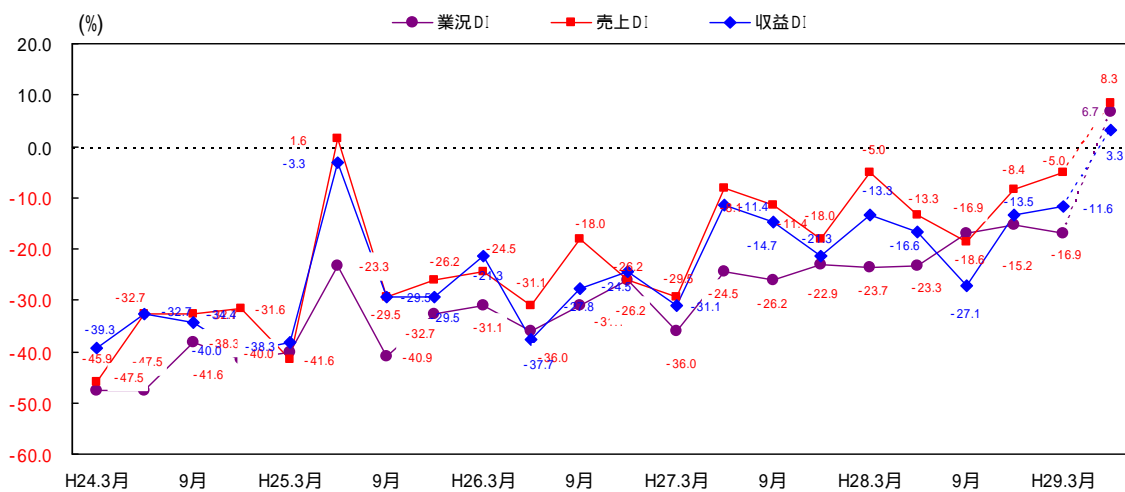
小 売 業

当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは 16.9となり、前期比1.7ポイント下降、前年同期比6.8ポイント上昇となっています。売上DIは 5.0となり、前期比3.4ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。収益DIは 11.6となり、前期比1.9ポイント上昇、前年同期比1.7ポイント上昇となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が 12.0となり、前期比14.9ポイント上昇、前年同期比22.6ポイント上昇、大分地区が 30.7となり、前期比18.7ポイント下降、前年同期比11.5ポイント下降、県北地区が12.5となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは6.7となり、今期比23.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは8.3となり、今期比13.2ポイント上昇となっています。収益予想DIは3.3となり、今期比14.9ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が12.0、大分地区が0.0、県北地区が12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.2%
同業者間の競争激化	16.2%
大型店競争激化	15.5%
利幅縮小	9.4%
取引先減少	6.7%

最重要経営施策

経費節減	50.9%
品揃え改善	40.0%
宣伝・広告強化	36.3%
売筋商品取扱	30.9%
仕入先開拓・選別	20.0%

経営者のみなさまの主なコメント

駅前通りに面している書籍小売業。仕入れ価格が高くなった。(書籍販売)
 顧客のお茶離れにより売上は低迷している。(お茶、干しシイタケ)
 同業者との競争から、旅館・ホテル等への納入価格が変動しやすく、収益の確保が難しい状況。大手企業との差別化を図り、きめの細かいサービスにより顧客を確保し、売上及び収益の増加を図る。(精肉卸)
 地元固定客が多くついており、店頭販売のみならず配達売上も増加している。(精肉)
 10月～年末にかけて売上は伸びるが、翌年1～3月に経費支払いが多くなるとともに売上の少ない時期でもあるので資金繰りが大変である。(酒類、食料品販売)
 暖冬の影響から燃料売上が減少していたが、正月以降は例年並みとなった。米は出来が良かったが、全国的に同じ傾向であり、利益は前年並み。(米穀卸)
 最近では東九州自動車道開通により宮崎県からのお客も多い。2月は閑散期であるが、例年以上に売り上げが上がっている。(雑貨、カフェ)

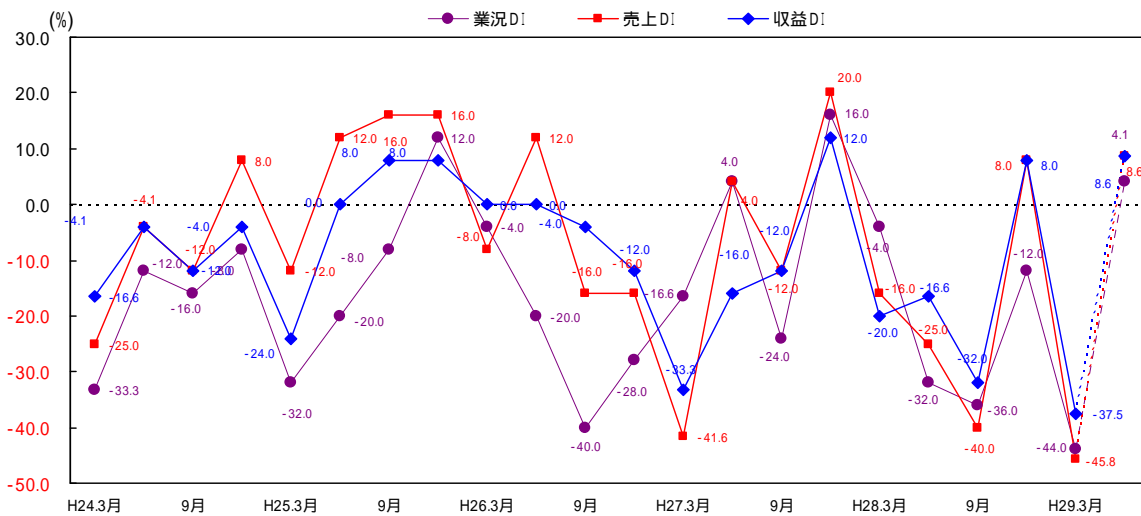
卸売業

当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは 44.0となり、前期比32.0ポイント下降、前年同期比40.0ポイント下降となっています。売上DIは 45.8となり、前期比53.8ポイント下降、前年同期比29.8ポイント下降となっています。収益DIは 37.5となり、前期比45.5ポイント下降、前年同期比17.5ポイント下降となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が 44.4となり、前期比22.2ポイント下降、前年同期比33.3ポイント下降、大分地区が 70.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比60.0ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比16.6ポイント下降になっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは4.1となり、今期比48.1ポイント上昇となっています。売上予想DIは8.6となり、今期比54.4ポイント上昇となっています。収益予想DIは8.6となり、今期比46.1ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が12.5、大分地区が 10.0、県北地区が16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	25.0%
仕入先からの値上要請	10.7%
同業者間の競争激化	8.9%
利幅縮小	8.9%
人手不足	7.1%

最重要経営施策

販路拡大	27.2%
経費節減	16.3%
情報力強化	9.0%
人材確保	9.0%
品揃えの充実化	7.2%

経営者のみなさまの主なコメント

人材については最適。2月は観光客も少なく売上減少。また、春先の連休については多忙が予想される。(土産卸)
 以前と比べると売上は減少しているが、自己資金での資金繰りは可能である。(鮮魚卸)
 年明けの閑散期に入り売上は低調。資金繰りは自己資金にて対応可能である。(鮮魚卸)
 仕入単価上昇の影響もあるが、自己資金で乗り切る意向。(青果卸売)
 仕入単価の上昇もあり収益を圧迫しているが、自己資金にて資金繰り可能。(青果卸売)
 売上高、収益ともに減少傾向にあるが、新規取引先開拓等営業活動の強化を図っている。(材木卸)
 オートバイ人口の減少に伴い売上も減少。社員の高齢化も進んでおり、後継者の育成が課題である。(オートバイ部品卸)
 従業員の男女や年齢層は幅広い。外国人雇用は現在のところ考えていない。(食品卸)

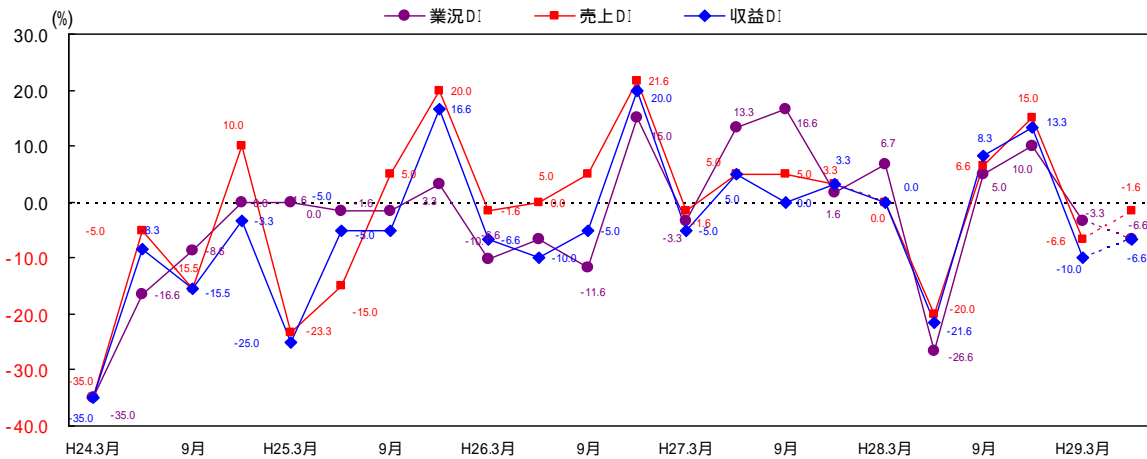
サービス業

当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは 3.3となり、前期比13.3ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。売上DIは 6.6となり、前期比21.6ポイント下降、前年同期比6.6ポイント下降となっています。収益DIは 10.0となり、前期比23.3ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期比10.7ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比7.1ポイント下降、前年同期比3.7ポイント下降、県北地区が 50.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比50.0ポイント下降となっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは 6.6となり、今期比3.3ポイント下降となっています。売上予想DIは 1.6となり、今期比5.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは 6.6となり、今期比3.4ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が 17.8、大分地区が10.7、県北地区が 50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	20.4%
同業者間の競争激化	15.5%
売上停滞・減少	12.2%
大手企業との競争激化	8.1%
材料価格の上昇	7.3%

最重要経営施策

経費節減	19.3%
販路拡大	17.7%
人材確保	14.5%
宣伝・広告強化	13.7%
店舗・設備改装	7.2%

経営者のみなさまの主なコメント

第一四半期の3か月間(10～12月)については、復興割の効果もあり、前年同期比売上105.9%と好調であった。29年1～2月も順調に推移しており、例年売上が増加する3月も含めると対前年を上回る予想。(ビジネスホテル)
 固定客が多く急激な売上減とはならない。店舗の老朽化が懸念点である。(理容業)
 売上は順調に推移している。今回、事務所兼店舗の新設工事を実施。顧客の大半は女性であり、今後もその傾向は変わらず推移する見込み(観光業)
 従業員の7割が女性である。しかし、外国人観光客をあまり受け入れていないため、外国人スタッフ雇用の予定はない。ファミリー層を狙って売上増加を図る。(宿泊業)
 昨年10～12月は、復興割により多くの観光客が宿泊した。今年は、外国人の活躍推進を増加させたい。(宿泊業)
 今年の1～2月は、外国人観光客が多く積極的に受け入れた。しかし、今のところ外国人スタッフを雇う予定はない。今後は、外国人スタッフの採用も視野に入れたい。(宿泊業)
 震災以降、市からのクリーニング依頼が増加しており(毛布等)、売上も増加している。パートを1名募集中。(クリーニング業)

建設業

当期(1月～3月)の景況

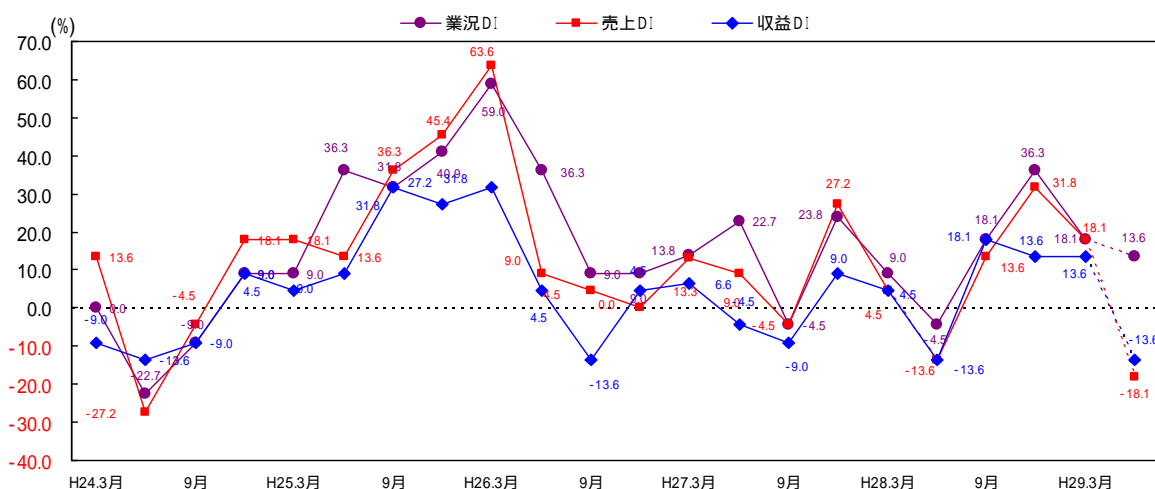
全域における業況DIは18.1となり、前期比18.2ポイント下降、前年同期比9.1ポイント上昇となっています。売上DIは18.1となり、前期比13.7ポイント下降、前年同期比13.6ポイント上昇となっています。収益DIは13.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比9.1ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が40.0となり、前期比40.0ポイント下降、前年同期比40.0ポイント上昇で、大分地区が22.2となり、前期比22.2ポイント下降、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは13.6となり、今期比4.5ポイント下降となっています。売上予想DIは18.1となり、今期比36.2ポイント下降となっています。収益予想DIは13.6となり、今期比27.2ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が20.0、大分地区が22.2、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	22.9%
同業者間の競争激化	12.5%
利幅縮小	12.5%
売上停滞・減少	8.3%
材料価格の上昇	6.2%

最重要経営施策

人材確保	22.9%
経費節減	20.8%
技術力向上	16.6%
販路拡大	14.5%
情報力強化	8.3%

経営者のみなさまの主なコメント

前年同時期よりも若干受注は増加している。若手人材の確保が今後の課題。(建設業)
 受注工事は大口先を中心に堅調に推移している。現在コスト軽減策を思案中。(建築工事業)
 メイン受注先から単価引下げの要求があり、売上が停滞している。また、人手不足のため外注を多く利用しており、利益率も低下している。(台所設置)
 従業員の高齢化と後継者の不在等により事業継続が難しい。(建設業)
 個人住宅を主商品としており、質の良さからか安定した固定数を確保している。(建設業)

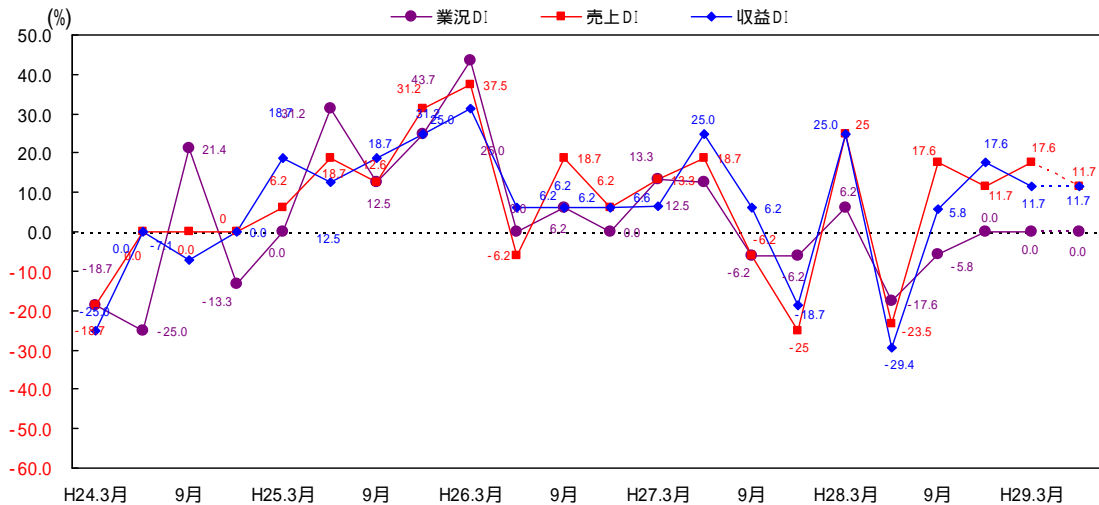
不動産業

当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比6.2ポイント下降となっています。売上DIは17.6となり、前期比5.9ポイント上昇、前年同期比7.4ポイント下降となっています。収益DIは11.7となり、前期比5.9ポイント下降、前年同期比13.3ポイント下降となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比14.3ポイント下降、大分地区が16.6となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比3.4ポイントの上昇、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイントの上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。売上予想DIは11.7となり、今期比5.9ポイント下降となっています。収益予想DIは11.7となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

商品物件不足	23.3%
同業者間の競争激化	20.0%
大手企業との競争激化	16.6%
問題なし	13.3%
利幅縮小	10.0%

最重要経営施策

情報力強化	27.7%
宣伝・広告強化	22.2%
経費節減	13.8%
販路拡大	13.8%
提携先探す	5.5%

経営者のみなさまの主なコメント

今期は不動産を売却したため、大幅な売上増加となる。よって消費税等納税資金が必要になると思われる。(貸家業)

別府などで良い物件が出ると、県外の方が購入することも多々ある。(不動産仲介業)

従業員は女性のみ、分譲地販売は増加している。(不動産仲介業)

優秀な人材であれば採用したい。(不動産業)

代表者一人で従業員はいない。現状、外国人、高齢者を問わず雇用の予定はない。(不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	10.3	9.6	16.9	44.0	3.3	18.1	0.0
	4月～6月予想	2.3	3.2	6.7	4.1	6.6	13.6	0.0
売 上	1月～3月実績	6.5	9.6	5.0	45.8	6.6	18.1	17.6
	4月～6月予想	1.9	0.0	8.3	8.6	1.6	18.1	11.7
受 注 残	1月～3月実績	3.8	3.3	***	***	***	4.5	***
	4月～6月予想	3.8	3.3	***	***	***	13.6	***
施 工 高	1月～3月実績	22.7	***	***	***	***	22.7	***
	4月～6月予想	18.2	***	***	***	***	18.1	***
収 益	1月～3月実績	10.3	16.1	11.6	37.5	10.0	13.6	11.7
	4月～6月予想	0.5	0.0	3.3	8.6	6.6	13.6	11.7
販 売 価 格	1月～3月実績	6.4	3.2	6.6	14.2	3.3	4.5	11.7
	4月～6月予想	0.5	3.2	5.0	0.0	0.0	13.6	0.0
仕 入 価 格	1月～3月実績	16.4	9.6	16.6	20.8	23.3	4.5	11.7
	4月～6月予想	9.9	9.6	13.3	8.6	11.6	4.5	0.0
在 庫	1月～3月実績	1.3	3.2	5.0	4.1	***	0.0	29.4
	4月～6月予想	7.2	3.2	1.6	21.7	***	4.5	17.6
資 金 繰 り	1月～3月実績	8.4	22.5	15.0	20.0	5.0	4.5	5.8
	4月～6月予想	5.2	16.1	8.3	4.1	1.6	0.0	5.8
残 業 時 間	1月～3月実績	2.8	0.0	3.3	17.3	1.6	9.0	5.8
	4月～6月予想	0.5	12.9	5.0	4.3	0.0	0.0	5.8
人 手 状 況	1月～3月実績	21.5	12.9	13.3	4.1	35.0	45.4	11.7
	4月～6月予想	24.8	16.1	13.3	29.1	36.6	40.9	11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	6.7	12.5	12.0	44.4	0.0	40.0	14.2
	4月～6月予想	2.2	6.2	12.0	12.5	17.8	20.0	14.2
売 上	1月～3月実績	13.3	25.0	15.3	87.5	7.1	60.0	28.5
	4月～6月予想	9.0	18.7	3.8	0.0	10.7	60.0	28.5
受 注 残	1月～3月実績	5.0	0.0	***	***	***	20.0	***
	4月～6月予想	25.0	13.3	***	***	***	60.0	***
施 工 高	1月～3月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	4月～6月予想	60.0	***	***	***	***	60.0	***
収 益	1月～3月実績	13.3	25.0	11.5	62.5	10.7	20.0	28.5
	4月～6月予想	9.0	18.7	3.8	0.0	17.8	20.0	28.5
販 売 価 格	1月～3月実績	5.6	0.0	0.0	0.0	7.1	40.0	14.2
	4月～6月予想	2.2	6.2	7.6	0.0	0.0	60.0	0.0
仕 入 価 格	1月～3月実績	18.9	18.7	15.3	0.0	21.4	40.0	28.5
	4月～6月予想	10.1	6.2	15.3	0.0	3.5	40.0	14.2
在 庫	1月～3月実績	4.8	6.2	3.8	12.5	***	0.0	57.1
	4月～6月予想	8.2	6.2	0.0	14.2	***	20.0	28.5
資 金 繰 り	1月～3月実績	2.2	25.0	15.3	11.1	14.2	0.0	14.2
	4月～6月予想	3.3	25.0	3.8	12.5	3.5	20.0	14.2
残 業 時 間	1月～3月実績	2.2	6.2	3.8	14.2	0.0	20.0	0.0
	4月～6月予想	1.1	6.2	3.8	14.2	3.5	20.0	0.0
人 手 状 況	1月～3月実績	24.4	0.0	19.2	0.0	42.8	80.0	14.2
	4月～6月予想	25.6	0.0	15.3	12.5	46.4	80.0	14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	20.2	60.0	30.7	70.0	0.0	22.2	16.6
	4月～6月予想	3.6	0.0	0.0	10.0	10.7	22.2	16.6
売上	1月～3月実績	7.1	40.0	3.8	30.0	3.5	11.1	0.0
	4月～6月予想	8.3	20.0	11.5	20.0	10.7	22.2	0.0
受注残	1月～3月実績	7.1	40.0	***	***	***	11.1	***
	4月～6月予想	7.1	20.0	***	***	***	22.2	***
施工高	1月～3月実績	22.2	***	***	***	***	22.2	***
	4月～6月予想	11.1	***	***	***	***	11.1	***
収益	1月～3月実績	10.7	20.0	15.3	40.0	7.1	22.2	0.0
	4月～6月予想	6.0	20.0	3.8	20.0	7.1	11.1	0.0
販売価格	1月～3月実績	10.7	0.0	19.2	30.0	0.0	0.0	16.6
	4月～6月予想	4.7	0.0	7.6	0.0	7.1	0.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	15.5	20.0	19.2	40.0	21.4	11.1	0.0
	4月～6月予想	10.7	20.0	11.5	20.0	17.8	11.1	16.6
在庫	1月～3月実績	1.7	0.0	7.6	0.0	***	0.0	16.6
	4月～6月予想	10.7	0.0	3.8	40.0	***	0.0	16.6
資金繰り	1月～3月実績	21.7	80.0	23.0	60.0	3.7	11.1	0.0
	4月～6月予想	9.6	60.0	19.2	10.0	0.0	11.1	0.0
残業時間	1月～3月実績	7.1	40.0	7.6	40.0	3.5	0.0	16.6
	4月～6月予想	3.8	40.0	7.6	20.0	3.5	0.0	16.6
人手状況	1月～3月実績	19.0	40.0	7.6	10.0	32.1	44.4	0.0
	4月～6月予想	26.2	60.0	11.5	40.0	32.1	33.3	0.0

県北地区

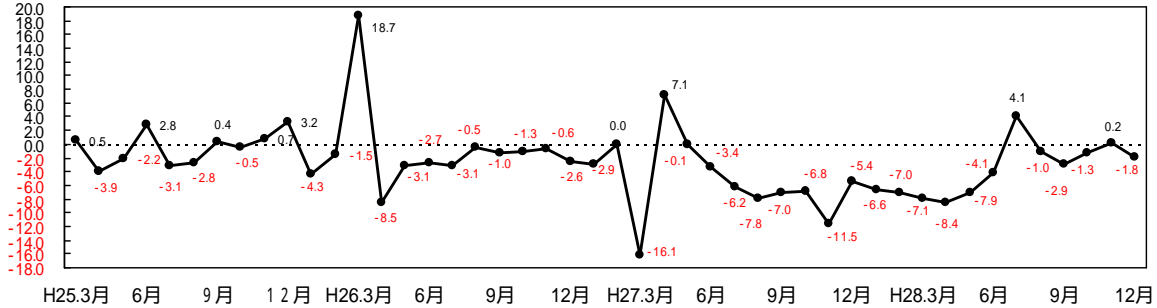
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	2.5	20.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	0.0	0.0	12.5	16.6	50.0	0.0	0.0
売上	1月～3月実績	10.0	30.0	25.0	16.6	25.0	0.0	25.0
	4月～6月予想	12.5	20.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0
受注残	1月～3月実績	11.1	30.0	***	***	***	12.5	***
	4月～6月予想	22.2	20.0	***	***	***	25.0	***
施工高	1月～3月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	4月～6月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	1月～3月実績	2.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	5.0	20.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0
販売価格	1月～3月実績	7.5	10.0	12.5	33.3	0.0	12.5	0.0
	4月～6月予想	2.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	12.5	10.0	12.5	16.6	50.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	7.5	10.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
在庫	1月～3月実績	0.0	0.0	0.0	0.0	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	0.0	0.0	0.0	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	1月～3月実績	5.0	10.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	0.0	20.0	12.5	16.6	0.0	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	5.0	10.0	12.5	16.6	0.0	12.5	0.0
	4月～6月予想	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
人手状況	1月～3月実績	20.0	20.0	12.5	33.3	0.0	25.0	25.0
	4月～6月予想	20.0	20.0	12.5	33.3	0.0	25.0	25.0

大型小売店販売額

平成28年12月の県内大型小売店販売額は126億円で、前年同月比1.8ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比1.8ポイントの下降、飲食料品が2.2ポイントの下降、その他の商品が0.6ポイントの下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前：経済産業省)

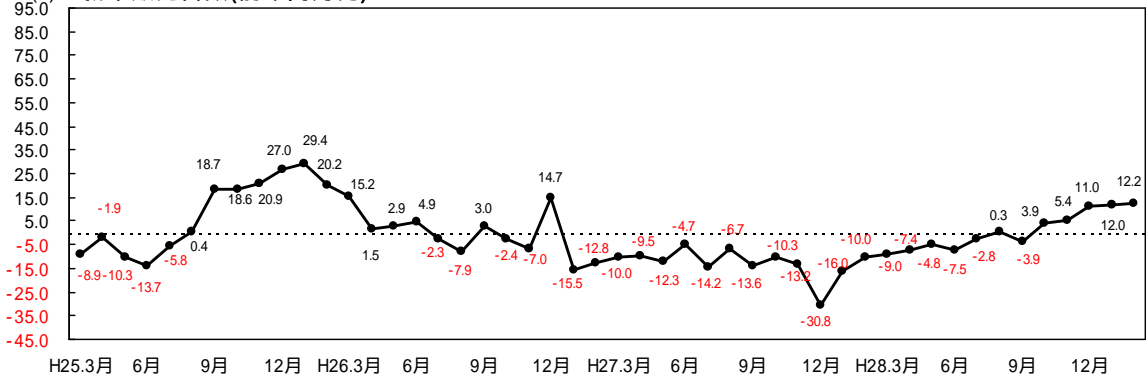


新車販売台数

2月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は5,376台で前年同月を12.2%上回りました。車種別では、普通乗用車が1,164台で前年同月比4.8%上昇し、小型乗用車が1,393台で前年同月比29.5%上昇となっています。また、軽四輪車の合計は2,452台で前年比5.8%上回っています。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

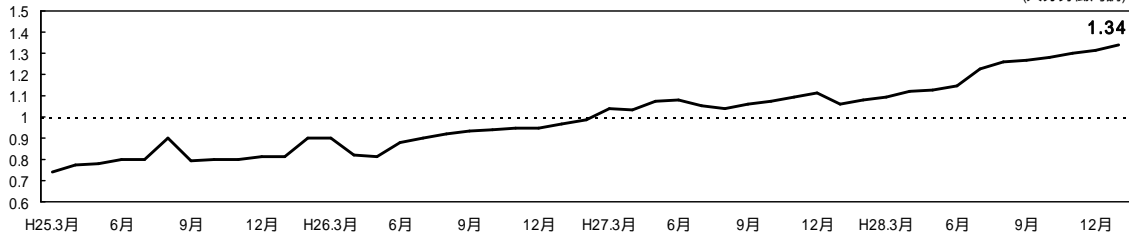


有効求人倍率

平成29年1月の県内有効求人倍率は1.34倍で、全国平均は1.43倍となりました。地域別でも、大分管内1.54倍、別府管内1.13倍、中津管内1.26倍、日田管内1.31倍と上昇基調は続いています。

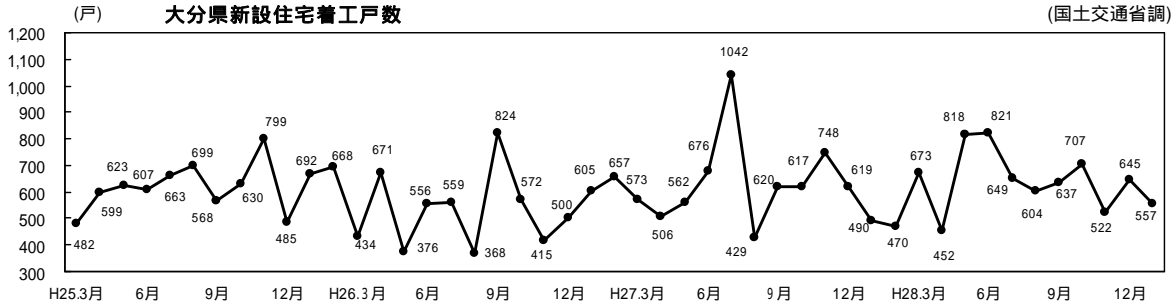
(倍) 有効求人倍率

(大分労働局調)



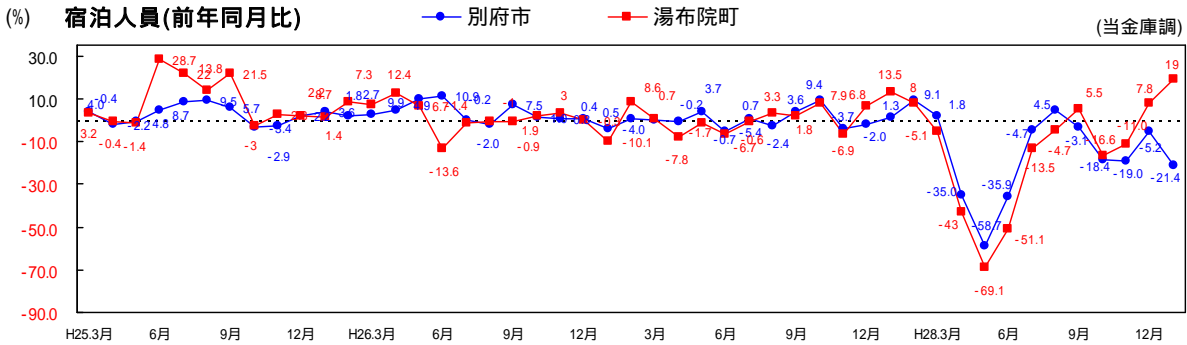
新設住宅着工戸数

平成29年1月の住宅着工戸数は557戸でした。1月の557戸のうち、持家は204戸、貸家は279戸、分譲住宅は27戸となっています。



観光動向

平成29年1月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で21.4ポイントの下降、湯布院地区で19.0ポイントの上昇となりました。別府地区においては、施設によって差はあるものの、「復興割(第二弾)」の反動減もあり、調査対象施設9施設中6施設で宿泊人員が前年実績を下回りました。湯布院地区においては、復興割終了の影響が懸念されましたが、調査対象施設において客単価の引下げがあったものの、前年同月比を上回る結果となりました。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成29年2月の県内の企業倒産件数は1件で8千5百万円、1月は4件で1億5千万円、平成28年12月は1件で1千6百万円となっています。

